

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3442 子どもの造形 [2]			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	クラス指定			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜2限				
教室	H106図画工作室				
代表教員	中村 仁美				
担当教員	中村 仁美				
テーマと到達目標	小学校図画工作科の造形表現活動を通して、自らの感性や表現力を高めるとともに、児童の造形表現への理解を深め、指導するための基礎的な能力を培う。				
概要	図画工作科の教科書にある題材を一通り取り上げ造形表現をすることで、6年間の内容を把握するとともに、著しく変化していく児童の発達と表現、及びそれを促す要因、児童の感性や創造性を豊かにする授業の構成などについて、自ら表現することによって実践的に学ぶ。また、造形表現の際に、他の教科がどのように関わっているか、総体的にとらえることを試みる。これらの学びは、2年次の「初等教科教育法（図画工作）」につながるものである。 この授業では、事前に告知された授業準備を予習、授業の記録をポートフォリオにまとめながら活動を指導者の目で捉え直すことを復習として、授業外学習（各回180分）に位置付ける。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション ー小学校図画工作科の内容ー				対面授業
第2回	造形あそび①：色				対面授業
第3回	絵に表す①：写生				対面授業
第4回	立体に表す①：木工・竹工				対面授業
第5回	工作に表す①：紙工作				対面授業
第6回	造形あそび②：空間				対面授業
第7回	ポートフォリオ共有による活動の振り返り				対面授業
第8回	絵に表す②：紙版画				対面授業
第9回	絵に表す③＋鑑賞：想像して表す＋友達の作品の鑑賞				対面授業
第10回	造形あそび③：自然素材				対面授業
第11回	立体に表す②：粘土				対面授業
第12回	絵に表す④-1：木版画				対面授業
第13回	絵に表す④-2：木版画				対面授業
第14回	鑑賞：美術作品の鑑賞				対面授業
第15回	全体のまとめ ー内容の実践からわかる小学校図画工作科の意義と方法ー				対面授業
成績評価の基準	・児童の目線で表現や鑑賞に悦びや難しさを見出し、児童の造形活動を指導する立場で活動を見直すことができるかを、造形活動への取り組みおよび成果物(50%)、ポートフォリオ(50%)から評価します。 ・造形活動への丁寧な感想や考察をポートフォリオに記載することは、指導者としての資質向上につながるため、加点の対象となります。 ・授業準備不足は、意欲減退や造形活動の支障につながるため、減点の対象となります。				
履修にあたっての留意事項	・実践中心の授業であり、実体験から考察することに意義があります。そのため、遅刻3回で欠席1回扱い、20分以上の遅刻については欠席とみなし、授業時数の合計4/5以上の出席で評価の対象とします。欠席の際は必ず理由を添えて、授業前にh.nakamura@wako.ac.jpまで連絡をして下さい。（ただし、証明可能なやむをえない遅刻や欠席については相談に乘ります。） ・参加者の活動の様子や天気などにより、内容や順番を変更することがあります。 ・造形活動をするため、汚れてもよい、動きやすい服装で参加して下さい。 ・写真・動画撮影（携帯電話のカメラ可）、ロイロノートでのポートフォリオ作成、およびそれらの送信と共有ができるように機器の準備をして下さい。 ・第一回の授業には、学内Wifiの接続設定を終えたPCかタブレットをご持参下さい。				

オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	・ 課題が提出期限までに提出されなかった場合、欠席として扱います。
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	・ 各回共通で必要な持ち物は初回に、各課題ごとに必要な持ち物は授業内で事前にお知らせします。授業に必要な材料・用具等は、各自で事前に入手・準備し、必ず持参して下さい。		
教科書	・ 必要に応じて、プリントやデータ、リンクなどを配布します。	教科書(ISBN)	
参考文献	・ 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示開設）図画工作編』日本文教出版, 2018 ・ 『ずがこうさく』（1～6年）日本文教出版, 2020	参考文献(ISBN)	